

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 11-345248
 (43)Date of publication of application : 14.12.1999

(51)Int.CI.

G06F 17/30
G06F 17/60

(21)Application number : 11-135659
 (22)Date of filing : 17.05.1999

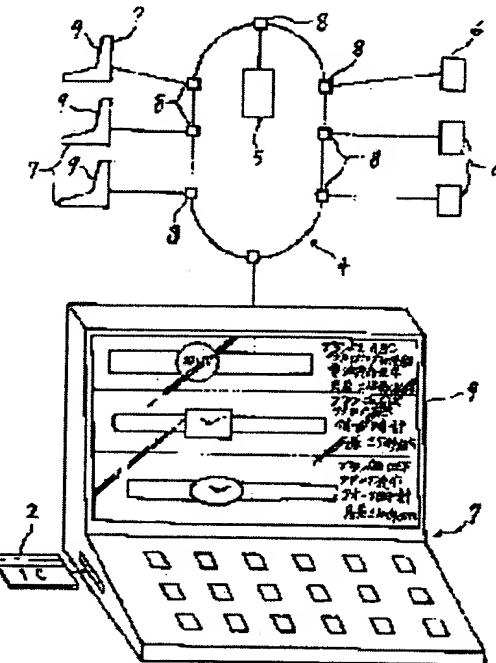
(71)Applicant : TSUKAMOTO YUTAKA
 (72)Inventor : TSUKAMOTO YUTAKA

(54) INFORMATION PROVISION SYSTEM

(57)Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To prevent user's privacy from being impaired due to that a user's profile information to be necessitated at the time of selecting information matched with user's taste is disclosed unexpectedly.

SOLUTION: Terminals 6 of various information providers transmit various offer information (product information) to a host computer 5 connected to a VAN 4, the profile information on a user which is recorded on an IC card 2 is read by a terminal 7 and is transmitted to the computer 5 and the computer 5 selects the transmitted offer information (product information) based on the transmitted profile information and transmits and provides offer information that matches the taste of the user to a terminal of the user. The profile information recorded on the card 2 is classified into ranks A to C according to the degree of secrecy and it is possible to input and set which rank of profile information is allowed to be disclosed according to the user's operation.



LEGAL STATUS

[Date of request for examination] 15.06.1999

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number] 3028484

[Date of registration] 04.02.2000

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

Copyright (C) 1998,2003 Japan Patent Office

REST AVAILABLE COPY

(19)日本国特許庁 (JP)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開平11-345248

(43)公開日 平成11年(1999)12月14日

(51)Int.Cl.⁶
G 0 6 F 17/30
17/60

識別記号

F I
G 0 6 F 15/403 3 4 0 A
15/21 Z
15/40 3 1 0 F

審査請求 有 発明の数2 O L (全 14 頁)

(21)出願番号 特願平11-135659
(62)分割の表示 特願平8-351994の分割
(22)出願日 昭和61年(1986)10月8日

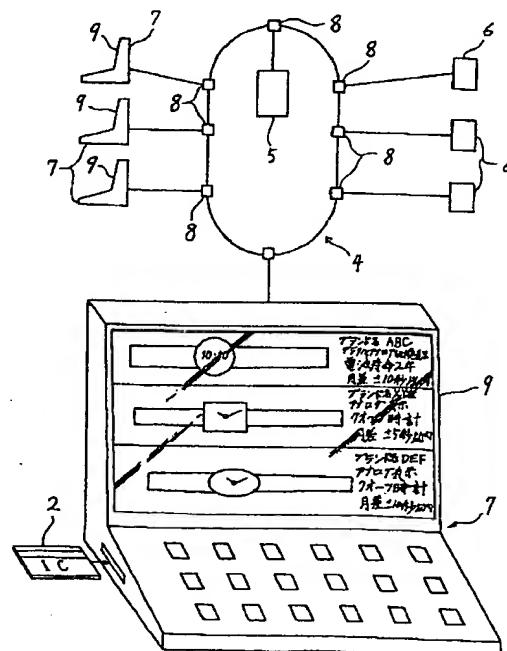
(71)出願人 593187342
塙本 豊
奈良県吉野郡大淀町大字北野40番地の15
(72)発明者 塙本 豊
岡山県玉野市玉4丁目8番20

(54)【発明の名称】 情報提供システム

(57)【要約】

【課題】 ユーザの嗜好にマッチする情報を選択する際に必要となるユーザのプロフィール情報が不測に公開されてプライバシーが損なわれることを防止する。

【解決手段】 V A N 4 に接続されたホストコンピュータ 5 に対し各種情報提供業者の端末機 6 から各種の提供情報(商品情報)が伝送され、I C カード 2 に記録されているユーザのプロフィール情報が端末機 7 によって読み取られたホストコンピュータ 5 へ伝送され、ホストコンピュータ 5 は、伝送されてきたプロフィール情報に基づいて伝送されてきた提供情報(商品情報)を選択してユーザの嗜好にマッチする提供情報をユーザの端末機 9 へ伝送して提供する。I C カード 2 に記録されているプロフィール情報は、秘密の度合に従ってA、B、Cのランク分けがなされており、当該ユーザの操作に従ってどのランクまでのプロフィール情報の公表を許容するかを入力設定可能にした。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 ユーザの嗜好にマッチする情報を提供する情報提供システムであって、

情報提供業者が提供する提供情報の選択のために利用される情報であって前記ユーザ自身に関するプロフィール情報を電子データの形で格納するユーザ情報格納手段と、

該ユーザ情報格納手段に格納されている前記ユーザのプロフィール情報に基づいて当該プロフィール情報にマッチする情報を前記提供情報の中から選択する選択手段と、

該選択手段で選択された情報を前記ユーザに提供するための情報提供手段とを含み、

前記ユーザ情報格納手段は、情報提供手段により商品情報が提供されて前記ユーザが商品を購入した場合にはその購入商品情報を前記プロフィール情報として格納して前記選択手段による情報の選択に利用できるように構成され、かつ、

前記ユーザ情報格納手段に格納されている前記プロフィール情報は、当該プロフィール情報に対応するユーザの操作に従って開示許可を受けたもの以外のプロフィール情報については秘密扱いにされて公開されないことを特徴とする、情報提供システム。

【請求項2】 前記ユーザ情報格納手段に格納されている前記プロフィール情報は、当該ユーザの容姿を映像表示するためのデータを含むことを特徴とする、請求項1に記載の情報提供システム。

【請求項3】 前記ユーザ情報格納手段に格納されている前記プロフィール情報は、当該ユーザの職業に関する情報を含むことを特徴とする、請求項1または請求項2に記載の情報提供システム。

【請求項4】 前記ユーザ情報格納手段に格納されている前記プロフィール情報は、当該ユーザの住所に関する情報を含むことを特徴とする、請求項1～請求項3のいずれかに記載の情報提供システム。

【請求項5】 前記ユーザ情報格納手段に格納されている前記プロフィール情報は、当該ユーザの収入に関する情報を含むことを特徴とする、請求項1～請求項4のいずれかに記載の情報提供システム。

【請求項6】 前記ユーザ情報格納手段に格納されている前記プロフィール情報は、当該ユーザの趣味に関する情報を含むことを特徴とする、請求項1～請求項5のいずれかに記載の情報提供システム。

【請求項7】 ユーザの嗜好にマッチする情報を提供する情報提供システムであって、情報を伝送して提供する情報提供業者が提供する提供情報の選択のために利用される情報であって前記ユーザ自身に関するプロフィール情報を電子データの形で格納するユーザ情報格納手段と、該ユーザ情報格納手段に格納されている前記ユーザのプロ

フィール情報に基づいて当該プロフィール情報にマッチする情報を前記提供情報の中から選択する選択手段と、

該選択手段で選択された情報を前記ユーザに提供するための情報提供手段とを含み、

前記情報提供業者は、前記提供情報ばかりでなく当該提供情報の内容を識別するための所定の様式に従って作成されたインデックス情報を伝送し、

前記選択手段は、前記ユーザ情報格納手段に格納されているプロフィール情報に基づいて、該プロフィール情報にマッチする情報の内容を識別するための前記インデックス情報を割出し、該インデックス情報と前記伝送されてきたインデックス情報を比較することにより前記提供情報の選択を行ない、

前記ユーザ情報格納手段に格納されている前記プロフィール情報は、当該プロフィール情報に対応するユーザの操作に従って開示許可を受けたもの以外のプロフィール情報については秘密扱いにされて公開されないことを特徴とする、情報提供システム。

20 【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、たとえば、ユーザの嗜好、趣味、生活環境、職業、収入、家族構成、住所、年齢等のプロフィール情報をを利用して、たとえば商品情報やニュース情報等を検索してユーザの嗜好にマッチする情報を提供する情報提供システムに関する。

【0002】

【従来の技術】前述したプロフィール情報をを利用して当該プロフィール情報にマッチする情報を検索して提供するという情報提供サービス技術として、たとえば、特開昭58-14269号公報、または、特開昭59-186063号公報に記載のものがあった。

【0003】この特開昭58-14269号公報に記載のものは、ユーザの異性に対する好みからなるプロフィール情報を紙カードに記録して入力し、その入力データにマッチする異性を検索して出力するものである。

【0004】一方、特開昭59-186063号公報に記載のものは、ユーザの肌の状況をチェックするための複数の質問事項が記載されている質問用カードをユーザに手渡し、その質問用カードの質問事項にYES, NO, PASSの中から択一的に選択して答えてもらいその答えを集計して化粧指導を行なうものである。

【0005】

【発明が解決しようとする課題】一方、この種の従来の情報提供システムが普及してネットワークを利用して情報提供サービスを行なうようになった場合には、たとえば前述した異性に対する好みからなるプロフィール情報がネットワークを通して流通し、他の業者がそのプロフィール情報を入手してそのユーザの好みにマッチする俳優の主演映画のビデオ情報やその好みにマッチする歌手

3
のC D情報を検索して提供するようになることが予想される。また前述した肌の状態に関する質問事項からなるプロフィール情報を他の業者が利用してエステサロン等の情報を提供するようになることも予想される。

【0006】すなわち、プロフィール情報がたとえばネットワークを介して流通して多くの業者にそのプロフィール情報が利用される状態になる可能性がある。そのような場合に、プロフィール情報主であるユーザとしては、みだりに公開したくないプロフィール情報も中には含まれており、そのようなプロフィール情報主が公開したくないと思っているプロフィール情報が公開されて利用される場合には、そのユーザのプライバシーが損なわれるという新たな問題が生ずる。

【0007】そこで、ユーザがプロフィール情報を通知する相手したいで通知するプロフィール情報を選択して制限できるようにしたいというニーズが生じることが予測される。

【0008】本発明は、係る実情に鑑み考え出されたものであり、その目的は、プロフィール情報の公開、非公開に関し、そのプロフィール情報主であるユーザの意思が反映できるようにしてプライバシーの保護が可能な情報提供システムを提供することである。

【0009】

【課題を解決するための手段】本第1発明は、ユーザの嗜好にマッチする情報を提供する情報提供システムであって、情報提供業者が提供する提供情報の選択のために利用される情報であって前記ユーザ自身に関するプロフィール情報を電子データの形で格納するユーザ情報格納手段と、該ユーザ情報格納手段に格納されている前記ユーザのプロフィール情報に基づいて当該プロフィール情報にマッチする情報を前記提供情報の中から選択する選択手段と、該選択手段で選択された情報を前記ユーザに提供するための情報提供手段とを含み、前記ユーザ情報格納手段は、情報提供手段により商品情報が提供されて前記ユーザが商品を購入した場合にはその購入商品情報を前記プロフィール情報として格納して前記選択手段による情報の選択に利用できるように構成され、かつ、前記ユーザ情報格納手段に格納されている前記プロフィール情報は、当該プロフィール情報に対応するユーザの操作に従って開示許可を受けたもの以外のプロフィール情報については秘密扱いにされて公開されないことを特徴とする。

【0010】本第2発明は、ユーザの嗜好にマッチする情報を提供する情報提供システムであって、情報を伝送して提供する情報提供業者が提供する提供情報の選択のために利用される情報であって前記ユーザ自身に関するプロフィール情報を電子データの形で格納するユーザ情報格納手段と、該ユーザ情報格納手段に格納されている前記ユーザのプロフィール情報に基づいて当該プロフィール情報にマッチする情報を前記提供情報の中から選択

する選択手段と、該選択手段で選択された情報を前記ユーザに提供するための情報提供手段とを含み、前記情報提供業者は、前記提供情報ばかりでなく当該提供情報の内容を識別するための所定の様式に従って作成されたインデックス情報を伝送し、前記選択手段は、前記ユーザ情報格納手段に格納されているプロフィール情報に基づいて、該プロフィール情報にマッチする情報の内容を識別するための前記インデックス情報を割出し、該インデックス情報と前記伝送してきたインデックス情報をとを比較することにより前記提供情報の選択を行ない、前記ユーザ情報格納手段に格納されている前記プロフィール情報は、当該プロフィール情報に対応するユーザの操作に従って開示許可を受けたもの以外のプロフィール情報については秘密扱いにされて公開されないことを特徴とする。

【0011】

【作用】本第1発明によれば、情報提供業者が提供する提供情報の選択のために利用される情報であってユーザ自身に関するプロフィール情報がユーザ情報格納手段に電子データの形で格納されている。選択手段の働きにより、前記ユーザ情報格納手段に格納されている前記ユーザのプロフィール情報に基づいて当該プロフィール情報にマッチする情報が前記提供情報の中から選択される。その選択された情報が情報提供手段の働きにより前記ユーザに提供される。そして、ユーザ情報格納手段は、情報提供手段により商品情報が提供されて前記ユーザが商品を購入した場合にはその購入商品情報を前記プロフィール情報として格納して前記選択手段による情報の選択に利用できるように構成されており、かつ、ユーザ情報格納手段に格納されている前記プロフィール情報は、当該プロフィール情報に対応するユーザの操作に従って開示許可を受けたもの以外のプロフィール情報については秘密扱いにされて公開されない。

【0012】本第2発明によれば、情報を伝送して提供する情報提供業者が提供する提供情報の選択のために利用される情報であってユーザ自身に関するプロフィール情報がユーザ情報格納手段に電子データの形で格納されている。選択手段の働きにより、前記ユーザ情報格納手段に格納されている前記ユーザのプロフィール情報に基づいて当該プロフィール情報にマッチする情報が前記提供情報の中から選択される。そしてその選択された情報が情報提供手段の働きにより前記ユーザに提供される。前記情報提供業者は、前記提供情報ばかりでなく当該提供情報の内容を識別するために所定の様式に従って作成されたインデックス用情報を伝送し、前記選択手段は、前記ユーザ情報格納手段に格納されているプロフィール情報に基づいて、そのプロフィール情報にマッチする情報の内容を識別するための前記インデックス用情報を割出し、その割出されたインデックス用情報と前記伝送してきたインデックス用情報をと比較することにより前

記提供情報の選択を行なう。そして、前記ユーザ情報格納手段に格納されている前記プロフィール情報は、当該プロフィール情報に対応するユーザの操作に従って開示許可を受けたもの以外のプロフィール情報については秘密扱いにされて公開されない。

【0013】

【発明の実施の形態】以下、本発明の実施例を図面に基づいて説明する。

【0014】百貨店、量販店等の小売業者単位または日本国あるいは全世界単位で統一規格された様式に従って、下記表(1)に示すような、ユーザ自身に関する個人情報を作成する。

【0015】

【表1】

1.	5	19	21	22
2.	2	4	8	
3.	5	7	9	12
4.	2	4	36	
5.	9	11	12	29
6.	1	8	9	30
.
.

【0016】作成するに際しては、1、(思想、信念)、2、(人生目標、志)、3、(生活コンセプト)、4、(性格)、5、(趣味)、等の各項目毎に多数の選択肢が用意された表(たとえば下記表(2))に従って1つ1つ本人が選択して作成していく。

【0017】

【表2】

4、(自己の性格)

1 内向的	2 社交的
3 内気	4 勝気
5 鮮活性	6 猛り性
7 几帳面	8 アバウト
9 堅実	10 義快的
11 素朴	12 努力型
13 責任感が強い	14 忠義心が強い
15 忍耐強い	16 律儀
17 情熱的	18 純情
19 親切	20 温和
21 短気	22 せつな的
23 他動的	24 積極的
25 ニヒル	26 独善的
27 付和雷同形	28 打算的
29 故漫	30 強情
31 小心	32 無気力
33 優柔不断	34 御節介
35 苦労性	36 楽観的
37 敏感	38 お人良し
39 該当性格なし	

5、(自己の趣味)

1 テニス	2 野球
3 サッカー	4 水泳
5 スキー	6 ゴルフ
7 ボーリング	8 ジョギング
9 登山	10 ハイキング
11 マリンダイビング	12 釣り
13 ドライブ	14 旅行
.	.
.	.
.	.
.	.

【0018】たとえば、4、(自己の性格)の項目において、本人自身が社交的で勝気で敏感であれば、表(2)の選択肢のうち2と4と36を選ぶことになり、出来上がった個人情報は、表(1)のように、4、の項目には2と4と36の番号が付されたものとなる。

【0019】このような個人情報を作成するに際してのコンサルタントを業務とするサービス機関を設立してもよく、その場合には、第三者の客観的意見を参考にしながら作成し得る。さらに、個人情報作成の際の参考として、個人情報を利用したある人物の各種実生活(たとえばインテリアやファッショントレンド、サークル活動等)を具体例としてCATV等で放送してもよい。そして、図1、図2のように出来上がった個人情報は、ICカード、ICメモリカードリッジ、バーソナルコンピュータ等の各種端末機に記録しておく。このようなICカード、ICメモリカードリッジ、バーソナルコンピュータ等の各種端末機により、情報提供業者が提供する提供情報の検索のために利用可能な情報であってユーザ自身に関する個人情報を格納するユーザ情報格納手段が構成さ

れている。また前記ICカード、ICメモリカートリッジ、パーソナルコンピュータ等の各種端末機により、ユーザによって作成され当該ユーザ個人の嗜好に関する嗜好情報を格納するユーザ情報格納手段が兼用構成されている。さらに、前記ICカード、ICメモリカートリッジ、パーソナルコンピュータ等により、予め規定された一定の様式に則り、個人が自己を表示することによりレディーメイドされた個人情報を読み出可能な状態で記録している携帯型記録媒体が構成されている。

【0020】個人情報を構成する項目は、前述したもののはかに、たとえば、以下のものが考えられる。6、(体の各部の寸法)、7、(職業)、8、(収入)、9、(家族構成)、10、(好きなブランド)、11、(好みの色)、12、(ファッショングに関する基本的な好み)、13、(資格)、14、(好きな食べ物飲み物)、15、(嫌いな食べ物飲み物)、16、(好みの味付け)、17、(住まいの間取りや広さ)、18、(体质)、19、(体型)、20、(興味ある学問)、21、(好きな学問)、22、(好きな音楽)、23、(好きな美術)、24、(好きな芸能人)、25、(好みの異性)、26、(衣服に関する好み)、27、(服飾品に関する好み)、28、(化粧または理容具に関する好み)、29、(室内装飾品に関する好み)、30、(飲食用容器に関する好み)、31、(家具に関する好み)、32、(暖冷房または空調換気機器に関する好み)、33、(乗用車に関する好み)、34、(時計に関する好み)、35、(本人の住所)、36、(年齢)、等。

【0021】前記「17、(住まいの間取りや広さ)」に関しては、実際の住まいの映像や設計図等を個人情報として記録することが考えられ、また、「19、(体型)」に関しては、体や顔の映像を記録しておくことも考えられる。また、「16、(好みの味付け)」とは、甘党、辛党、塩分控えめ等を示すが、適当な料理(たとえばカレー)について、自己が最も好ましい甘味、辛味、塩分等の比率をサンプルとして記録しておくことも考えられる。

【0022】次に、前記個人情報を利用して商品、たとえば時計を購入する際には、図1に示すように、時計を売っている小売店の端末機1に、自己の個人情報を記録しているICカード2等を差込み、時計の選択に際して必要となる個人情報をディスプレイ3に表示する。時計の選択の場合に必要となる個人情報は、たとえば、4、(性格)、5、(趣味)、7、(職業)、8、(収入)、10、(好きなブランド)、11、(好みの色)、12、(ファッショングに関する基本的な好み)、26、(衣服に関する好み)、27、(服飾品に関する好み)、34、(時計に関する好み)、等が考えられ、顧客A氏の個人情報の中からそれらの項目についてピックアップして、たとえば図1に示すようにディスプレイ

3上に表示する。

【0023】そして、表示された内容を小売店等の店員が検討して、その顧客にふさわしい時計を数多くの商品の中から選び出し、順次顧客に見せる。図1に示した顧客A氏の場合は、ブランドがABCまたはXYZでアナログ表示機能を有する薄くて軽いものがよく、しかも、多機能を要求するために液晶時計がよいということがわかる。さらに、デザイン的には、優美でフォーマル的であり、かつ、渋い衣服にフィットする時計である必要がある。また、登山用やマリンダイビング用の時計も売れる可能性が高い。値段の方は年収1千万円からして多少高いものでもよい。さらに、顧客A氏への対応の仕方としては、勝気な性格であることからして、自尊心を傷つけないように注意し、また、社交的であることから、趣味の登山、マリンダイビング等の話も交えながら対応するのが好ましい。その他に、個人情報を資料として小売店側の専門的知識経験を有効利用した高度な販売、サービス、営業活動等が可能となる。

【0024】また、顧客が未だに個人情報の全部または一部を作っていない場合は、小売店等において商品を購入する際に逐次必要な個人情報を本人が作成すればよく、その場合、作成された個人情報をその都度顧客が自己的ICカード2等に記録すれば後々便利である。

【0025】次に、前述した商品の選択サービスを、小売店に変わってVAN(付加価値通信網)業者等の専門のサービス業者が行なう場合を図2に基づいて説明する。

【0026】図中4はVAN(付加価値通信網)であり、5はVAN業者のホストコンピュータである。そして、日本全国または全世界のメーカーや流通業者、小売店、データバンク、新聞、放送局、レストラン、旅行代理店、その他の各種のサービス業者等の端末機6が前記ホストコンピュータ5と接続されており、日本全国または全世界の商品情報やレストランのメニュー情報等がホストコンピュータ5に記憶されている。そして、図中7は、家庭、オフィス、ホテル等の端末機であり、NCU(Network Control Unit)が設けられている。そして、このNCUそれぞれを電話回線を介してVANのアクセスポイントに接続してある。なお、図中8はCCP(通信制御処理装置)である。そして、顧客が商品(たとえば時計)を購入する際には、自己の個人情報を記録しているICカード2を端末機7に差込むとともに、購入したい商品の種類(たとえば時計)をインプットする。

【0027】すると、個人情報の中から、前述した時計選択に必要な項目のみがホストコンピュータ5によってピックアップされ、そのピックアップされた個人情報をもとに、ホストコンピュータ5が自動的に日本全国または全世界の時計の中から顧客にふさわしい時計を一次選択し、その結果を顧客の使用している端末機7にまで伝送し、それぞれの時計を映像や文字によりディスプレイ

9上に表示する。そして、顧客が最も欲しい時計が見つかれば、その時計を販売している小売店のうち自宅や勤め先から一番近い小売店をホストコンピュータ5に教えてもらう。もし近くにその時計を販売している小売店がない場合は、近くの小売店への注文をVAN業者側に行なってもらう。前記商品の一次選択を自動的に行なうためにホストコンピュータ5に組込まれるプログラムを図3に示す。

【0028】このプログラムを図3に基づいて簡単に説明する。ステップS(以下端にSという)1により、商品の一次選択の依頼があったか否かの判断がなされ、あるまで待機する。そしてあった場合にはS2に進み、端末機から個人情報のインプットがあったか否かの判断がなされ、あるまで待機する。そして個人情報のインプットがあればS3に進み、購入希望商品の種類のインプットがあったか否かの判断がなされ、あるまで待機する。そしてあった場合にはS4に進み、インプットされた商品の種類に対応する項目のみを個人情報の中からピックアップする処理がなされる。

【0029】次にS5に進み、ピックアップされた個人情報に基づいて商品選択条件を割出す処理がなされる。次にS6に進み、商品選択条件を満たす商品を予め記録されている多くの商品の中から検索する処理がなされ、S7に進み、検索された商品情報を順次依頼者の端末機に伝送する処理がなされる。次にS8に進み、依頼者が決めた購入希望商品を販売している小売店のうち依頼者の住所に最も近いところを探し端末機に伝送する処理がなされる。次にS9に進み、より近い小売店への商品注目の依頼があったか否かの判断がなされ、ない場合にはS1に戻るが、あった場合にはS10に進み、依頼者の住所に最も近い小売店へ商品の注文をし、商品の納入日および小売店の住所、店名を依頼者の端末機に伝送する処理がなされた後S1に戻る。

【0030】次に、たとえば、家具を購入する場合に、家具の選択に必要となる個人情報は、たとえば、3、(生活コンセプト)、4、(性格)、5、(趣味)、8、(収入)、9、(家族構成)、10、(好きなブランド)、11、(好みの色)、12、(ファッショングにに関する基本的な好み)、17、(住まいの間取りや広さ)、19、(体型)、23、(好きな美術)、26、(衣服に関する好み)、29、(室内装飾品に関する好み)、30、(飲食用容器に関する好み)、31、(家具に関する好み)、32、(暖冷房または空調機器に関する好み)、等が考えられ、前記時計の場合と同様に、これらの項目に基づいてピックアップされた個人情報をもとに、商品の一次選択を行なって顧客使用の端末機7に表示するのであるが、その際、個人の情報の中の「17、(住まいの間取りや広さ)」の項目に記録されている顧客の住まいの映像や設計図等の中から、たとえば図4に示すようにリビングルームの映像E1をディスプレ

イ9に表示し、それに一次選択された家具を配置した状態をVAN業者側がシミュレーションし、その映像を端末機7のディスプレイ9に表示するより好都合である。

【0031】また、顧客の個人情報に基づいて、その顧客にふさわしいリビングルームのインテリアE2をVAN業者側が提案し、図5に示すように端末機7のディスプレイ9に表示させることも考えられ、その際、顧客の希望に基づいて端末機7を操作して提案されたインテリア映像E2を一部変更するようにし、理想とするインテリアをディスプレイ9上で作成し得るよう構成してもよい。その場合には、理想的インテリアで統一された家具、照明、室内装飾品等の総合的選択が可能となる。この場合の家具の一次選択や顧客にふさわしいインテリアの提案には、人工知能を利用した専門家システムを活用するのが有意義であり、ノイマン式コンピュータに比べてより高度なサービスが期待できる。そして、顧客が最終的に図5に示すインテリア映像に基づいて、家具、室内装飾品等を一式購入したときは、その顧客の個人情報の中の「17、(住まいの間取りや広さ)」の項目に記録されている図4に示すリビングルームの映像を図5に示すものに更新する。さらに、一次選択された商品の中にどうしても顧客の気に入るものがなかった場合には、インプットされた個人情報をフルに活用し、人工知能による専門家システムにより、顧客にふさわしい商品イメージを作成し提案してもよく、それにに基づいて顧客がディスプレイ9上で修正しながら理想とする商品イメージを作り上げる。そして、商品イメージをもとに、メーカー側と共同でCAD/CAMシステムを活用して実際の商品をオーダーメイドで作成し提案してもよい。

【0032】次に、衣服の選択においては、前記の家具の場合と同様にシミュレーションを行なうのであるが、顧客の個人情報のうち、「19、(体型)」の項目に記録している顧客の顔、体の映像(図6、図7参照)をもとに、それに一次選択された衣服を着用した姿をシミュレーションし端末機7のディスプレイ9で表示し(図8参照)それをもとに、顧客が自己の希望どおりに衣服の映像を修正しながら自分の最も理想とする衣類イメージを作成する。

【0033】また、衣類の選択の場合、TPOが重要なため、ディスプレイ9上での表示に際して、顧客がリクエストする背景(ビル街、港、山等)をバックに映し出すのが好ましい(図8参照)。さらに、その状態で衣類を試着した人間に歩く等の動きをシミュレーションして端末機7に表示してもよい。また、このようなシミュレーションを利用して、衣類ばかりでなく、履物、服飾品、身の回り品、装身具、鞄等を試着した総合的ファッショングイメージを提案すれば、映像の上で作成された理想的なファッショングイメージで統一された総合的な商品選択が可能となる。この総合的ファッショングイメージ

の提案は、たとえば、前記顧客A氏の場合、優美でかつ英國感覚で統一することが必要となる。このようにして作成された衣類等の映像を仕立て屋に伝送し、実際の衣類を作成してもらう。

【0034】次に、レストラン等のメニューを選択する場合にも、日本全国のレストラン等のメニューを記憶しているVAN業者に自己の個人情報を伝送して一次選択してもらうことが考えられ、その日のメニューが決まれば、そのメニューを作るレストラン等のうち最も近いところを教えてもらう。そして、教えてもらったレストランに行き、個人情報のうち特に「16、(好みの味付け)」の項目を参考に料理を自分好みの味付けに作ってもらう。

【0035】次に、ニュース情報やデータバンク等の各種情報サービス機関からの情報を選択するに、まず、図2に示したホストコンピュータ5に自己の個人情報を予め登録しておき、報道機関や各種情報サービス機関等の端末機6から日々ホストコンピュータ5に伝送されてくるユーザ用情報の中から、前記登録されている個人情報をもとにその個人情報主本人(ユーザ)に適する情報のみを一次選択し、各ユーザの端末機に伝送する。この場合も、人工知能による専門家システムを活用することが有意義であり、たとえば、「7、(職業)」の項目が弁理士であるユーザA氏に対しては、工業所有権や発明に関するを一次選択し、「5、(趣味)」の項目が釣りのユーザに関しては、釣り情報や釣り具の新製品情報を一次選択して伝送する。

【0036】また、情報サービス機関等から日々送られてくる大量の情報の中から特定の情報(たとえば、工業所有権や釣り情報)を一次選択する手段としては、各情報を内容別に分類し(たとえば、大分類として1、自然科学、2、法律、3、文学、また、小分類としてa、物理学、b、化学、c、生物学、さらに細分類、細々分類、というようにする)、あるユーザが欲すると思われる分類をそのものの個人情報から割出して、その分類を予め登録しておく。この分類の割出しには、人工知能を使用した専門家システムの活用が有意義である。次に、報道機関や各種情報サービス機関において、伝送する情報に予め逐一前記内容別の分類を付してもらい、その状態で分類とともに情報をホストコンピュータ5にまで伝送してもらう。そして、ホストコンピュータ5で予め登録されている分類に一致する分類が付されている情報のみをピックアップして、各ユーザの端末機7まで伝送する。この場合ホストコンピュータ5に組込まれるプログラムを図9に示す。

【0037】図9に基づいてそのプログラムを簡単に説明する。まずS11により、ユーザの総数をKと定義する処理がなされ、次にS12に進み、N=1が定義されて初期値が設定される。次にS13に進み、情報の一次選択サービスへの加入依頼があったか否かの判断がなさ

れ、ない場合にはS16に進み、情報サービス機関等から情報が伝送されてきたか否か判断され、ない場合にはS13に戻る。このS13～S16のループの巡回途中で、情報の一次選択サービスへの加入依頼があった場合にはS13によりYESの判断がなされてS14に進み、K=K+1すなわちユーザの総数Kを1加算する処理がなされる。次にS15に進み、新たな加入者から伝送されてきた個人情報に基づきその加入者(ユーザ)が欲すると思われる情報の分類を割出して登録する処理がなされた後にS16に進む。

【0038】一方、情報サービス機関等から情報が伝送されてきた場合にはS16によりYESの判断がなされてS17に進み、ユーザ(N)の予め登録されている分類と伝送されてきた分類とが一致するか否かの判断がなされる。このユーザ(N)の(N)は、ユーザ番号であり、この段階では、前記S12により「1」となっている。ゆえに、S17により、ユーザ(1)すなわち1番目のユーザの予め登録されている分類と伝送されてきた分類とが一致するか否かの判断がなされる。そして一致すればS18に進み、その一致した情報をユーザ(N)すなわちこの段階ではユーザ(1)に伝送する処理がなされた後S19に進む。一方、S17により一致しないと判断された場合にはS18の処理が行なわれることなく直接S19に進む。

【0039】S19では、N=Kであるかいなかの判断がなされる。この段階で、Nは「1」であり、Kは現時点におけるユーザの総数であるために、NOと判断され、S20に進み、N=N+1すなわちNに1加算する処理がなされた後にS17に進む。その結果、Nの値が30「2」となり、S17により、ユーザ(N)すなわちユーザ(2)の予め登録されている分類と伝送されてきた分類とが一致するか否かの判断がなされ、2番目のユーザについての一一致判別処理がなされる。

【0040】このS17～S20の処理を複数回繰返して実行し、その度にS22よりNに「1」を加算する処理がなされ、Nの値とKの値とが一致した段階でS19によりYESの判断がなされてS12に戻る。その結果、1番目のユーザからK番目のユーザすなわち現時点におけるユーザすべてについてS17の一一致判別がなされ、一致する場合にはそのユーザに対し一致した情報を伝送する処理がなされる。

【0041】次に、別の検索手段としては、キーワード検索が考えられる。たとえば、ユーザA氏の場合では、「工業所有権」や「発明」、あるいは、「釣り」等のキーワードを割出し登録しておき、ホストコンピュータ5に伝送されてきた大量の情報の中から前記キーワードと一致する言葉が含まれていた場合は、その情報をピックアップしてユーザA氏の端末機7まで伝送する。前記キーワードの割出しは、人工知能を使用した専門家システムの活用が有意義である。また、ニュース等の音声を媒

体とする情報に対しキーワード検索を行なうには、音声認識技術が必要であり、図10に示すいわゆるパターン・マッチング法による音声認識システムを使用するのが好ましい。図中10は前処理部、11はデジタルフィルタ群、12は特徴抽出部、13は認識部、14は標準パターンメモリ、15は標準パターンバッファ、16は制御部である。

【0042】次に、個人情報に基づいて、各人の人生スタイル等のコンサルタントを行なうサービス期間を設立してもよい。たとえば、個人情報の中の「2、(人生目標、志)」、「4、(性格)」、「20、(興味ある学問)」等の項目をもとに、人生目標の達成のための最適な生活スタイル(たとえば、人生設計、家族計画、各種社交活動や勉強等)の提案や情報提供等の各種アドバイスを行ない、本人の理想とするあらう生活スタイルのイメージを提案する。そして、その理想的生活スタイルに適した各種具体的商品や情報を一次選択して提案すれば、理想的生活スタイルで統一された総合的な商品や情報の選択が可能となる。

【0043】たとえば、ユーザB氏の個人情報のうち、「2、(人生目標、志)」の項目が、ベンチャービジネスで成功することであり、「4、(性格)」の項目が、内向的、凝り性、楽観的、であり、また、「20、(興味ある学問)」の項目が、数学、物理であった場合、まず、バイオ関係、コンピュータ関係、メカトロ関係等の技術系のベンチャービジネスの中からユーザB氏が希望するものを選んでもらう。そして、たとえば、コンピュータ関係、特にソフトウェア関係のベンチャービジネスを選んだとすると、それに基づいて以下の表(3)に示す人生設計を提案する。

【0044】

【表3】

年齢	
17	A大学情報処理科入学
20	B株式会社入社
25	B株式会社・Cソフトハウス株設立
30	結婚
	出産・Cソフトハウス株二部上場
	出産
35	小学校入学
40	小学校入学
	中学入学
45	中学入学
	高校入学・Cソフトハウス株一部上場
	高校入学
50	大学入学
	大学入学
	就職
55	就職
60	

【0045】前記表(3)中、A大学は、情報処理科に力を入れているところでかつユーザB氏の学力を考慮して提案する。大学時代は、ユーザB氏に、情報処理に関する文献情報の紹介をするばかりでなく、ベンチャービジネスの経営に必要となる文献等も紹介し、B氏が希望する文献を販売する。次に、B株式会社への入社はあくまでソフトハウス設立のための準備であるため、情報処理技術の習得、同志の発見や人脈の形成等を目的として最適な企業を選んで提案する。また、B株式会社時代における同志の発見に際しては、ユーザB氏の性格を考慮しながら最適なパートナー(同志)のイメージを提案する。たとえば、B氏が内向的で楽観的であるため、社交的で苦労性の相手がよいと思われ、併せて、性格の見抜き方や人を引きつける術等に関する文献の提供を行なってよい。また、結婚相手もB氏の個人情報をもとに最適なパートナーのイメージを提案する。さらに、結婚式等に必要となる各種の準備や手続を代行するサービスを行なってよい。

【0046】次に、B氏が31歳になるころ、出産に必要となる各種ベビー用品の情報を一次選択して提供する。その一次選択に際しては、B氏の個人情報が参考とされることはあるまでもない。

【0047】次に、子供の小学校入学に際しても前述と同様に必要となる学用品情報を一次選択して提供する。このように、生活スタイル(たとえば人生設計)に基づいてその都度タイムリーに商品や情報の提供をすることにより、人生設計という大きな観点からユーザの自己実現に寄与することができ、ユーザにとって理想的な商品

や情報選びが可能となる。

【0048】次に、接待、サークル活動、各種地域活動等の社交的活動の場での個人情報の活用を説明する。たとえば、接待でこれから会わんとする者同士は、予め自己の端末機7を使用して互いに自己の個人情報の全部または一部を伝送し合う。すると、これから会わんとする相手に対して、思想、信念、趣味、好き嫌い、性格、好み等に関する予備知識ができ、初対面でもコミュニケーションの円滑な発展展開が可能となり、また、同志との巡り合いの機会も多くなる。また、サークル活動や各種地域活動においても、各人の個人情報を1カ所にプールし、適宜閲覧できるようにしておくとよい。また、図11のよう、自己の個人情報の全部または一部を自己の名刺17に記録しておくのもよく、このような名刺の交換により互いに自己の個人情報を交換することができ、コミュニケーションの円滑な発展に寄与し得る。この場合、光ディスク（特に書換型光ディスク）、磁気ディスク、IC等の記録媒体18を名刺17に貼着して、それに記録させる。前記名刺17により、個人に携帯され、その個人を表章するカード状個人識別表示体が構成されている。そして、このカード状個人識別表示体には、前述したように、個人の氏名とその個人が属している会社名等からなる組織名とが表面に表示されるとともに、前述した光ディスク、磁気ディスク、IC等の記録媒体に、その個人に関するデータが機械的に読み取可能な方式で記録されている。

【0049】次に、個人情報は一人に1種類ではなく2種類以上作成してもよい。たとえば、本人自身を正確に表示した個人情報の他に、本人が理想とする架空の自己を表示するというアレンジを加えた個人情報を作成してもよい。この理想的な自己を表示した個人情報をを利用して、消費生活、知的生活、社交的活動等の各種実生活をすることにより、各種実生活を自己の理想とするものに改革していくことができる。自己を徐々に理想とする姿に近づけることが期待できる。たとえば、前記顧客A氏の場合、若者に少しでも近づき、現代の若者を理解しようと思ったときは、個人情報のうち「5、（趣味）」の項目に、ウィンドサーフィンやテニス等を加えたり、また、「12、（ファッションに関する基本的な好み）」の項目を流行的で革新的なファッションを好み、カジュアル指向、というように変更する。このようなアレンジされた個人情報を知的の生活に活用すれば必然的にウィンドサーフィンやテニスの情報が入手でき、また、消費生活に活用すれば流行的革新的で若者風のファッションを身に着けることができ、さらに、社交的活動に活用することにより、ウィンドサーフィンやテニスを好み流行に敏感な若者指向の人間との付き合いが可能となる。

【0050】つまり、この個人情報は、各種実生活を形成する核となる役割を有するのであり、この個人情報を自

由にアレンジすることにより、自己の実生活に同様のアレンジを容易に加えることができる。自己実現を支援してくれる強力な道具としての機能も期待できる。また、自己実現のために最適な個人情報の作成をアドバイスするサービス機関を設立してもよい。

【0051】次に、以上説明した実施例の変形例や異なった実施例等を説明する。

① 個人情報作成に際して、各項目毎に表（1）の選択肢から選択して作成するのに代えて、各項目毎に本人が文章等で記述して作成する。この場合、その個人情報の読み取解説には、人工知能を必要とするが、より高度な個人情報の作成が可能となる。

【0052】② 前記ICカード2等に記録されている個人情報の項目の中には不特定多数のものにみだりに公表したくないものがあるため、秘密にしたい度合いをたとえば、A、B、Cのランク分けし、個人情報の各項目をそのA、B、Cのランクに分類する。そして、ショッピング等のように不特定多数のものに個人情報を公表する場合はランクAに分類された秘密の必要性の低い項目のみを公表する。また、サークル活動等の場合のようにある限られた特定の者にのみ個人情報を公表する場合はランクAおよびランクBに分類されているものを公表する。さらに、婚約者や信頼できる親友等に対しては最も秘密性の高いランクCまで公表する。このように、各項目毎にその秘密の度合いにより選択して公表できるようになる。この場合、ICカード等に簡単なキーボード部分を設け、そのキーボードの操作により個人情報のランク別による選択公表ができるよう構成する。

【0053】前述した個人情報のうち、趣味、好きなブランド、好みの色、ファッションに関する基本的な好み、好きな食べ物飲み物、嫌いな食べ物飲み物、好みの味付け、興味ある学問、好きな学問、好きな音楽、好きな美術、好きな芸能人、好みの異性、衣服に関する好み、服飾品に関する好み、化粧または理容具に関する好み、室内装飾品に関する好み、飲食用容器に関する好み、家具に関する好み、暖冷房または空調換気機器に関する好み、乗用車に関する好み、時計に関する好み等により、ユーザーによって作成され当該ユーザー個人の嗜好に関する嗜好情報が構成されている。この嗜好情報は、前述したように、表（1）に示すように、予め規定された所定の様式に則り数値化表現されて作成され、その数値化表現された嗜好情報が前記ユーザ情報格納手段に格納される。

【0054】また、前記ホストコンピュータ5により、前記ユーザ情報格納手段に格納されている前記個人情報に基づいて、前記情報提供業者が提供する提供情報の中から当該個人情報に対応するものを検索する検索手段が構成されている。また前記ホストコンピュータ5により、前記ユーザ情報格納手段に格納されている前記嗜好情報に基づいて、情報提供業者が提供する提供情報の中

から当該嗜好情報に対応するものを検索する検索手段が兼用構成されている。また図9に示したプログラムが記憶されている前記ホストコンピュータ5からなる検索手段は、新たな前記提供情報が前記情報提供業者から提供されてきた場合に、前記ユーザ情報格納手段に格納されているユーザ毎の前記嗜好情報に基づいて前記新たな提供情報をどのユーザに提供すべきかの対応関係を検索する機能を有する。

【0055】さらに、前記S7またはS18により、前記検索手段により検索された提供情報を、その検索に用いられた個人情報に相当するユーザに前記情報通信網を介して提供する検索結果提供手段が構成されている。さらに、前記S7またはS18により、前記検索手段により検索された提供情報を、その検索に用いられた嗜好情報に相当するユーザに前記データ通信網を介して提供する検索結果提供手段が構成されている。さらに、前記S18からなる検索結果提供手段は、前記検索手段により提供すべきユーザが検索された場合には当該ユーザに対し対応する前記新たな提供情報を提供する機能を有する。また、本検索システムを利用するユーザが、自己の個人情報の一例としての住まいの間取りや広さの映像や設計図等に基づいて家具やインテリア情報を検索して提供してもらった場合に、前述したように、その家具やインテリアを購入した場合には、そのユーザの図4に示されたリビングルームの映像からなる個人情報を図5に示した家具やインテリア購入後の新たなリビングルームの映像に更新される。このように、前記ユーザ情報格納手段に格納されている前記個人情報は、本検索システム利用の結果前記個人情報の内容が変わる場合にはその新たな内容の個人情報に更新される。

【0056】前記ICカード、ICメモリカートリッジ、パーソナルコンピュータ等により、情報提供業者が提供する提供情報の選択のために利用される情報であって前記ユーザ自身に関するプロフィール情報を電子データの形で格納するユーザ情報格納手段が構成されている。図3に示したS4～S6、または、図9に示したS15～S17により、前記ユーザ情報格納手段に格納されている前記ユーザのプロフィール情報に基づいて当該プロフィール情報にマッチする情報を前記提供情報の中から選択する選択手段が構成されている。図3に示したS7または図9に示したS18により、前記選択手段で選択された情報を前記ユーザに提供するための情報提供手段が構成されている。

【0057】そして、図4、図5に基づいて説明したように、前記ユーザ情報格納手段は、情報提供手段により商品情報が提供されて前記ユーザが商品を購入した場合にはその購入商品情報を前記プロフィール情報として格納して前記選択手段による情報選択に利用できるようにする（図5に示す状態にする）。

【0058】そして、前記ユーザ情報格納手段に格納さ

れている前記プロフィール情報は、当該プロフィール情報に対応するユーザの操作（ICカード等に設けられたキーボードの操作）に従って開示許可を受けたもの以外のプロフィール情報については秘密扱いにされて公開されない。

【0059】また前述したように、前記情報提供業者は、前記提供情報ばかりでなく当該提供情報の内容を識別するために所定の様式に従って作成されたインデックス用情報（提供情報に割り振られた大分類や小分類や細分類等の分類情報）も伝送する。前記選択手段は、前記ユーザ情報格納手段に格納されているプロフィール情報に基づいて、当該プロフィール情報にマッチする情報の内容を識別するための前記インデックス用情報を割り出（S15）、該インデックス用情報と前記伝送されてきたインデックス用情報とを比較（S17）することにより前記提供情報の選択を行なう。

【0060】また、前述したように、前記ICカード等に記録される個人情報（プロフィール情報）は、当該ユーザの職業、収入、本人の住所、趣味等の項目も含まれている。すなわち、前記ユーザ情報格納手段に格納されている前記プロフィール情報は、当該ユーザの職業、収入、住所、趣味等の情報を含んでいる。さらに図7に基づいて説明したように、前記ユーザ情報格納手段に格納されている前記プロフィール情報は、当該ユーザの容姿を映像表示するためのデータも含んでいる。

【0061】
【発明の効果】本第1発明によれば、提供情報の中からユーザの嗜好にマッチする情報を選択する際に利用されるプロフィール情報が、当該プロフィール情報に対応するユーザの操作に従って開示許可を受けたもの以外のプロフィール情報については秘密扱いにされて公開されないために、当該ユーザの意思に反して自己のプロフィール情報が公開されてしまう不都合を極力防止することができ、ユーザのプライバシーを保護することが可能となる。

【0062】さらに、ユーザが過去において商品を購入した場合にはその購入商品情報をプロフィール情報としてユーザ情報格納手段に格納可能となるために、当該ユーザの商品の購買履歴情報を参考にして情報の選択提供が可能となり、真にユーザが欲すると思われる情報をそのユーザに提供できる。

【0063】本第2発明によれば、提供情報の中からユーザの嗜好にマッチする情報を選択する際に利用されるプロフィール情報が、当該プロフィール情報に対応するユーザの操作に従って開示許可を受けたもの以外のプロフィール情報については秘密扱いにされて公開されないために、当該ユーザの意思に反して自己のプロフィール情報が公開されてしまうことが極力防止でき、そのユーザのプライバシーを保護することが可能となる。

【0064】さらに、情報提供業者が、提供情報ばかり

でなく当該提供情報の内容を識別するために所定の様式に従って作成されたインデックス用情報も伝送し、選択手段が、前記ユーザ情報格納手段に格納されているプロフィール情報に基づいて、該プロフィール情報にマッチする情報の内容を識別するための前記インデックス用情報を割出し、そのインデックス用情報と前記伝送されてきたインデックス用情報を比較することにより提供情報の選択を行なうために、所定の様式に従って作成されたインデックス用情報同士の比較によりコンピュータ等を利用した自動選択が行ないやすくなり、大量の提供情報の中からユーザの嗜好にマッチした情報を迅速に選択しやすくなる。

【図面の簡単な説明】

【図1】端末機の斜視図である。

【図2】検索システム全体の構成を示す概略構成図である。

【図3】図2に示したホストコンピュータの動作を説明*

*するためのフローチャートである。

【図4】ディスプレイに表示された画面図である。

【図5】ディスプレイに表示された画面図である。

【図6】ディスプレイに表示された画面図である。

【図7】ディスプレイに表示された画面図である。

【図8】ディスプレイに表示された画面図である。

【図9】図2に示したホストコンピュータの動作を説明するためのフローチャートである。

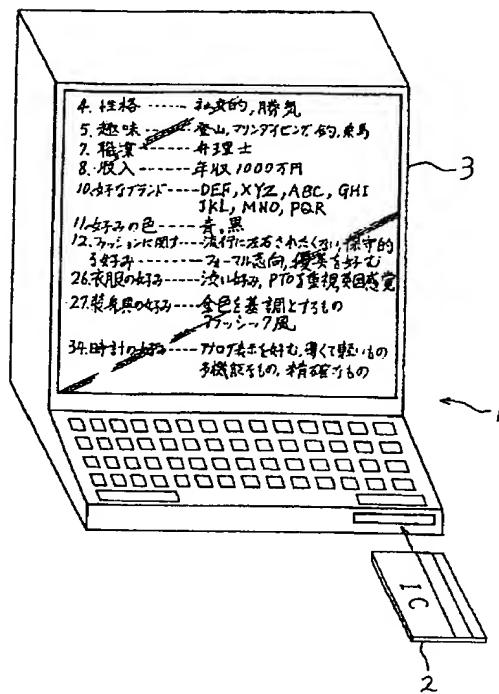
【図10】制御回路を示すブロック図である。

【図11】名刺を示す斜視図である。

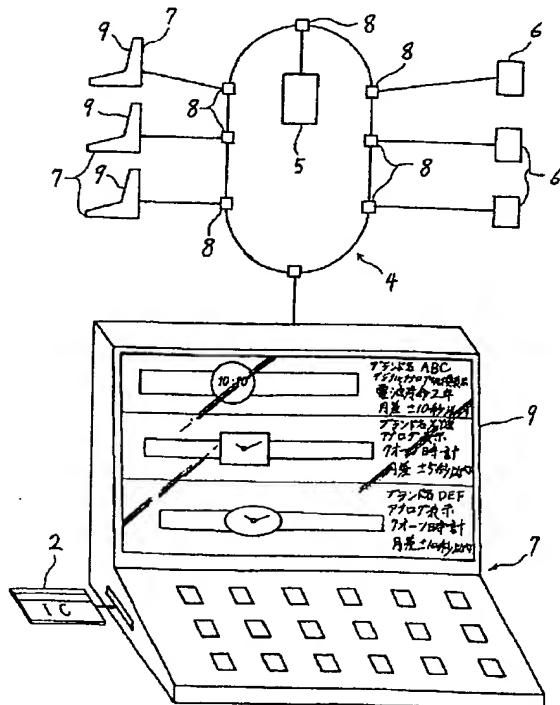
【符号の説明】

1, 6, 7は端末機、3, 9はディスプレイ、5は検索手段の一例のホストコンピュータ、2はユーザ情報格納手段の一例のICカード、4はVAN（付加価値通信網）、8はCCP（通信制御処理装置）、17は名刺である。

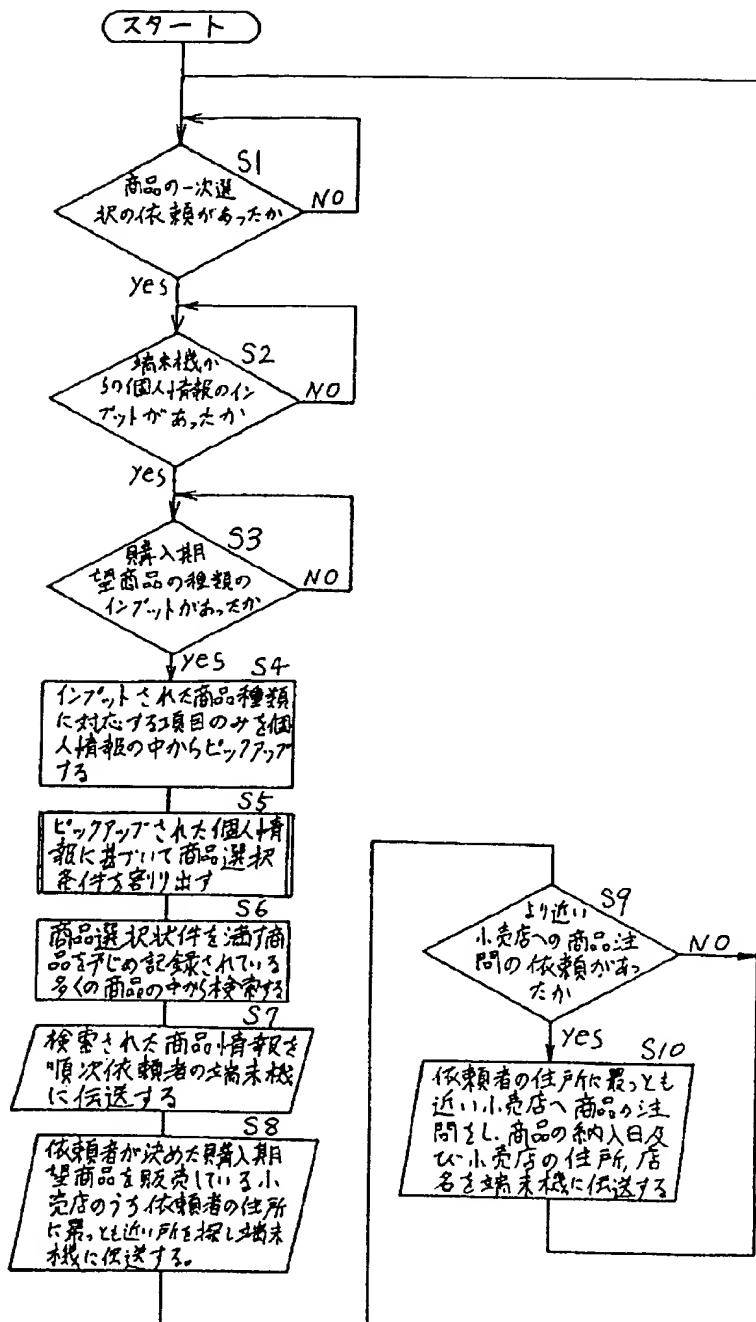
【図1】



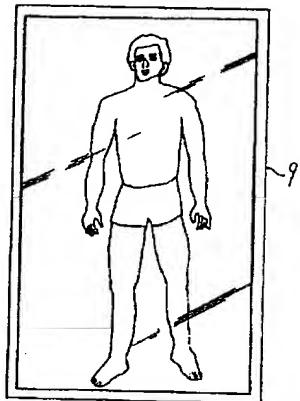
【図2】



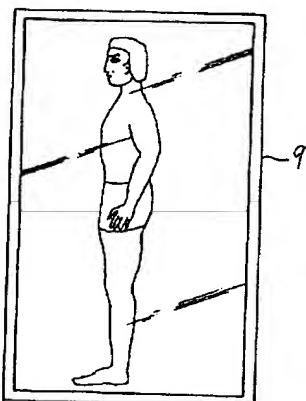
【図3】



【図6】



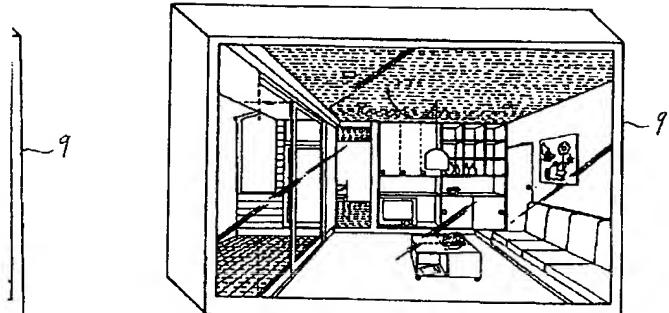
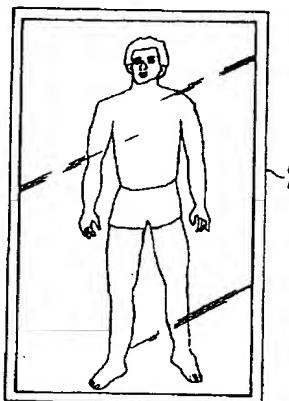
【図7】



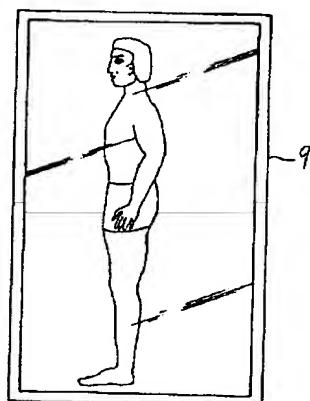
【図8】



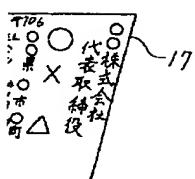
【図6】



【図7】



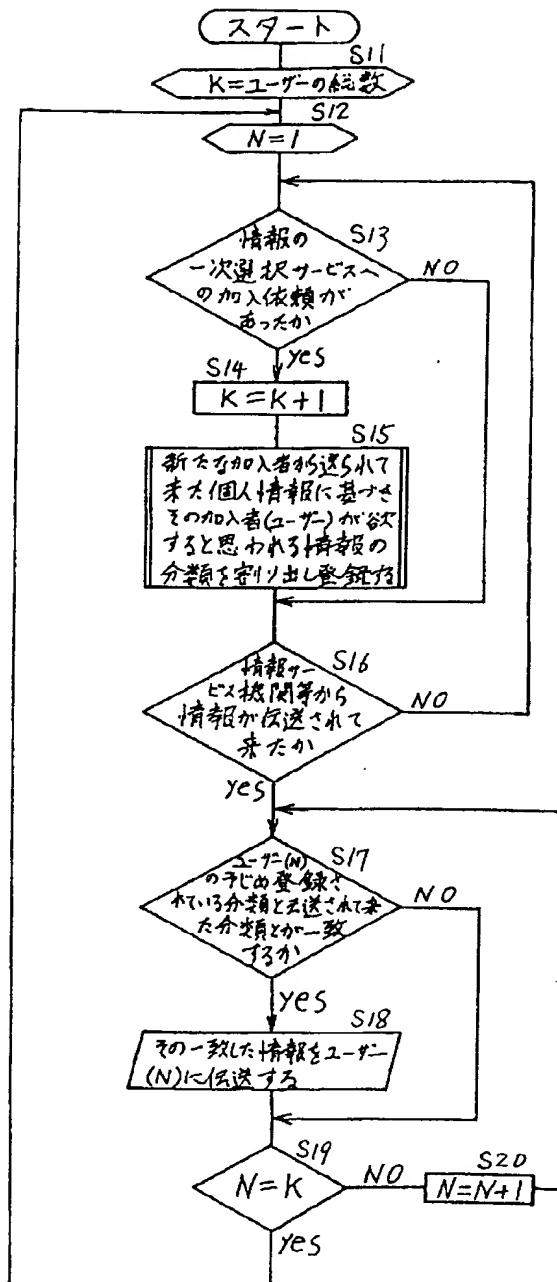
【図11】



【図8】



【図9】



**This Page is Inserted by IFW Indexing and Scanning
Operations and is not part of the Official Record**

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images include but are not limited to the items checked:

- BLACK BORDERS**
- IMAGE CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES**
- FADED TEXT OR DRAWING**
- BLURRED OR ILLEGIBLE TEXT OR DRAWING**
- SKEWED/SLANTED IMAGES**
- COLOR OR BLACK AND WHITE PHOTOGRAPHS**
- GRAY SCALE DOCUMENTS**
- LINES OR MARKS ON ORIGINAL DOCUMENT**
- REFERENCE(S) OR EXHIBIT(S) SUBMITTED ARE POOR QUALITY**
- OTHER: _____**

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

As rescanning these documents will not correct the image problems checked, please do not report these problems to the IFW Image Problem Mailbox.